ZENNAMA
とうほく

第４号
2026 年 7 月
全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ工業組合連合会
全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ協同組合連合会
東北地区本部

東北地区本部 総会 開催

6 月 2 日、全生連東北地区本部と東北地区生コンクリート協議会の令和 8 年度通常総会が、仙台市にて開催されました。

令和 7 年度事業報告・決算、令和 8 年度事業計画・予算と会費賦課金、役員選任のすべての議案が異議なく承認されました。

具体的には、令和 7 年度決算は実質 130 万円余の赤字。また事務局改革の議論を受けて、本年度は会費を従来の出荷量㎥×2.2 円から、6 県工組×120 万円に変更。また経費削減のため本年度は事務局の移転を想定。来年度からは諸経費を更に削減し、ほぼ収支均衡とする方針です。

また、副本部長に安藤政則山形工組理事長が選任されました。



東北地区の令和 7 年度データ(工組員)

年 度	R4	R5	R6	R7
出荷量(万㎥)	457.1	404.3	365.7	350.7
対前年比(%)	88.3	88.5	90.4	95.9
工場数(年度末)	249	246	240	237
一工場当り出荷量(㎥)	18,356	16,437	15,236	14,799
操業率(%)	6.5	5.8	5.4	5.2
生コン価格(円)	15,050	17,583	19,367	21,533

※生コン価格は、「建設物価」3 月号、18-18-25、県庁所在地平均。

建設資材対策 東北地方連絡会

6 月 9 日、東北地方整備局において同連絡会が開催され、髙野副本部長が出席し、出荷・価格・供給体制の報告を行うとともに、白舗装を始めとする生コン使用の拡大、適切な取引価格への理解等を要請しました。

中尾企画部長の冒頭挨拶では、”ナフサ由来の建設資材が十分行き渡たっていない。目詰まり解消に向けて、経産省と連携してワンストップ窓口を設置。また実態把握のため、一人親方も含めてヒアリングに着手”とのお話がありました。また国交省から”アスファルト合材等の値上がり”、他の建設資材業界からも”出荷量減少とコスト上昇で苦境にある”等の報告がありました。

コンクリ甲子園、東北から本選へ！

甲子園の募集が始まりました。本年度の課題は「目標圧縮強度を 25～29N/mm2 で各自設定し、その値に近いこと。環境に配慮した材料を使用すること」。参加申込みは 7 月 31 日まで。予選の供試体は 9 月 8～10 日必着。予選（圧縮強度測定）は 9 月 26 日。

東北地区からは、昨年度の 6 校を上回る参加が予想されます。関係する組合・工場の皆様は、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

東北地区から予選を突破する学校が出るように！



祝！ 優良組合表彰

この度、宮城県生コンクリート工業組合様が、全生連の優良組合表彰を受賞されました。おめでとうございます！

生コン Data

	総出荷量（前年比）	価格(建設物価)(18-18-25 県庁所在地等平均)
東北	95.8% (4-5 月)	21,533 円~7 月号
全国	90.3% (4-5 月)	23,264 円~7 月号

総出荷量：青森 114.0%　秋田 93.3%　岩手 76.3%
山形 86.9%　宮城 103.1%　福島 97.1%

地区本部の行事予定

7 月	委員会（品質管理監査、総務、共同事業、技術、認定共同試験場）
8 月	事務局連絡会議（6 県工組）
9 月	工組事務局職員研修会

発行 全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ工業組合連合会／全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ協同組合連合会 東北地区本部
宮城県仙台市青葉区本町三丁目 5-22 Tel 022-214-1073